

2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

FUKUYAMA SOUTH ROTARY CLUB



Vol.

4

2014年 10月号



2014-15年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

金子 克也

GOVERNOR: Kaneko Katsuya

「職業奉仕月間によせて」 — 道徳的水準を高めるとは —

ロータリー文庫の図書目録を見ていましたら、前原勝樹編「ロータリー職業奉仕事例集」が目につきました。早速ロータリー文庫でコピーを手に入れました。前原さんは、明治37年桐生市のお生まれで、京都大学医学部ご卒業の医学博士で、桐生ロータリークラブの創立会員でもあり、RI355地区1968-69年のガバナーで、ロータリー入門書の著者です。

ロータリー職業奉仕事例集編集のいきさつには、つぎのように書いてあります。“ロータリー入門書を発刊したところ、意外にも歓迎をうけ、半ばテキスト的な存在にまでなりました。そこで自信を得て、第2弾としてこの事例集に取り組みました。

私こと年来、日本版「職業奉仕事例集」なるものを編集してみたいと考えていました。想うに職業奉仕は日常の職業生活の内にあるもので、必ずしも企画して行われるものでなく、「商売繁盛の秘訣」がこれにあたるものと思われまふ。

日本人の特性である陰徳主義から、「あたりまえのこと」「これしきのこと」等で公表をためらわれるのが実情ですが、敢えて、依頼状を発送し、およそ400名の方々から原稿が寄せられ、その内具体性が充分でないもの、クラブの職業奉仕活動に属するもの等は没にした”とあります。

I、職業奉仕の事例の一、最良の品質・最善のサービスでは202例、二、従業員と共に、三、同業者と共に、に分かれており、

II、公害防止の事例、III、職業に関連した社会奉仕の事例となっています。

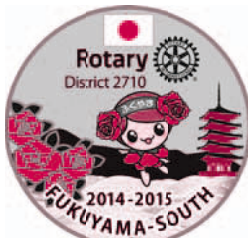
職業に関連した社会奉仕の事例の中に、「壮なる奉仕、医大を開設」の見出しで、川崎医科大学と付属病院を開設した川崎祐宣氏の記事が目にとまりました。氏は、岡山大学医学部をご卒業の後、昭和13年頃から岡山市で外科病院を開業、日増しに盛業に赴いて、昭和20年の空襲に遭って全焼したもの、直ちに復興して昭和40年頃には、800床を有する大病院に発展しました。川崎氏の医療哲学は、医師は職業柄不幸な人々と接することが多いので、常に人間味豊かな気持ちで対処すると共に、医業は財を蓄えるために行うべきでなく、もし金銭的に余裕が出来た時は、これを社会と患者に還元すべきであると主張しました。

昭和41年頃から、医科大学と付属病院の建設に着手しましたが、それは、真に医師と言われるにふさわしい臨床家を毎年100名ずつ世に送り出すことは、10の病院を開設するより遥かに多くの患者を救う道であるとの考えからでした。

ロータリークラブ定款第5条第1項の2に、「職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め」とあります。このことは、ロータリアンは、顧客のために、最良の品質・最善のサービスを提供すべきであると説いているようです。これは、ロータリーで言うところの道徳的水準を高めることであり、これを実践することで、企業は発展し、収益は向上し、国の発展と世界の貢献に繋がるものと思います。川崎氏の業績は、職業奉仕による大きな社会奉仕といえまふ。

各業界、職種、職務において特有な職業奉仕の例を見聞しましょう。共通する理念を見いだすこともできるかもしれません。私達は、それらを参考にして、自分なりの計画を立案・実践しなければなりません。

高道徳、高品位の営業行為は、必ず顧客満足を得ます。こうした営業を続けると自己の職業を盛業に導くことができます。ロータリーには、こうした優れた教えがあります。この1年間、これらを発掘し、会得し実践に邁進して下さることを願っています。



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	会員増強部門	4
職業奉仕月間に寄せて	2	ロータリー財団部門	5
よねやま奨学会とわたし	2	2014年 米山奨学会研修旅行報告	5~6
米山月間によせて 一過去・現在・未来一	3	会員増減・出席率	7
【地区指導者育成セミナー報告】		新入会員紹介／物故者への哀悼	8
地区代表幹事	4	文庫通信	8

【ガバナー月信10月号】



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



職業奉仕月間に寄せて

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会カウンセラー 南園 義一

毎年10月の「職業奉仕月間」は、クラブが職業奉仕の理念を日々、実践することを強調するための月間であるとされています。2013年度版のロータリー章典には、職業奉仕月間の目的として以下のように記載されています。

1、可能であれば地区レベルの行事でロータリーボランティアを表彰する。2、ロータリー親睦活動への関与を推進する。3、職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱する。4、空席の職業分類に会員を入会させるために会員増強活動を推進する。

言うまでもなく、職業奉仕はロータリー活動の基盤をなす重要な奉仕活動です。私はロータリーの職業奉仕月間への期待に加えて、2012年1月に理事会決定されたキーマッセージも強調したいと思います。

1、新会員募集と入会に関する職業と職業分類の重要性の強調。2、クラブ活動に関する職業の重要性を見出す方法の確立。3、クラブと地区レベルのロータリーの高潔性に基づいたネットワーキングの強化。4、新世代へのアピールと要請するための手段としての基準に沿ったネットワーキング強化の重点視。5、四つのテストとロータリーの行動規範と

の密接関係と重要性の強化。

2011年に改訂された8項目のロータリーの行動規範は、2014年に更に文言も簡素化され、5項目に修正されました。表現は簡素化されましたが内容は変わりません。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1、個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2、取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊敬の念をもって接する。
- 3、自分の職業のスキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める。
- 4、ロータリーやロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5、事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない。

最近、ロータリーの最大の特徴である職業奉仕は、「職業人としての活躍とその社会的責任」が重要視されて来ました。皆様の「職業奉仕の実践」が期待されています。



よねやま奨学会とわたし

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会カウンセラー 仁田 一也

正式には「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」ですがここでは「よねやま奨学会」または単に「よねやま」と省略いたします。この奨学会の内容についてはよねやま月間に送られてくる豆辞典というポケット版の冊子がありますのでぜひご覧になってください。小型版とはいえ毎年検討が重ねられ最新のデータで改訂、発行される、至れり尽くせりの優れものです。

さて、わたしは1998-99年にガバナーを務めたあと縁あって長らくよねやま本部の仕事に関わってまいりました。いくつかの役職にもたずさわって、よねやま奨学会をより立体的に感得することができました。十数年にわたる関係者のみなさまのご協力とご支援に対し心からお礼を申し上げます。

この9月、理事を退任しましたので、心に残っている「よねやま」への思いのいくつかをお伝えしておきたいと思います。1、まず「よねやま」は組織の運営が活き活きとしていることです。理事会、評議員会はパストガバナー主体に構成され、選考、財務、広報、学務・学友などの専門委員会は数名の適任者が選ばれます。いずれも地区・職業の異なるロー

タリアンが個性豊かな視点から率直に意見が出され、真っ向からの反論も出ますが、結論が出たら笑顔でわかれます。ロータリーの会議はかくあるべしと思わせます。

2、日本のロータリアンが発想し育てあげたシステムですから細かいところまで納得しやすく、選ばれた奨学生は家族のように迎えられ、日本の伝統・文化・くらしなどに接することができ、日本のよき理解者になってくれるものと思います。

3、「よねやま奨学会」事務局は事務局長以下11名で構成されて、複雑なデイリーワークも整然とこなしています。一方で例えばどこかの国で自然災害などが発生した場合、ただちにメールを送ってお見舞いを述べるとともに学友の安否を確かめるなど心あたまるアフターケアもおこなっております。ツワモノ揃いのパストガバナー達を納得させる仕事振りは見事です。寄付金はムダに使われてはおりません。事務局にもエールを！

最近の国際情勢の厳しいこと。人種・宗教文化などの違いは人の心にこれほどまで激しい憎しみや殺意を抱かせる

ものでしょうか。

この問いに対して答えるには私達一人ひとりの力は弱すぎます。かといって投げ出してしまっては自分自身がみじめになります。

わたし達日本のロータリアンは「よねやま奨学会」の事業

を通じて60年がかりで世界121の国と地域からの1万7千人を超える留学生を支援してきました。これは決して小さい数ではありません。母国に帰ってからの「よねやま」育ちの諸君の大活躍ぶりは豆辞典やロータリーの友誌をご覧ください。次世代の夢を彼らに託そうではありませんか。



米山月間によせて ―過去・現在・未来―

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員長 仲達 吉晴

今年度の米山奨学の委員長を拝命しております、仲達と申します。この一年間前年度委員長井上様のご指導により、なんとか米山について理解できている状況下にあります。

今月は米山月間であります。少しでも米山について皆様のお役に立てればと思い、米山奨学の「過去」・「現在」・「未来」についてを題材として書かせて頂きます。

私より、皆様のほうが良くご存知かと思いますが確認する程度とお考え頂きたいです。「過去」即ち米山が出来た経緯については、奉仕の人「米山梅吉」の人物像を知ることから始めます。米山梅吉氏(1868-1946)は、幼小にして父と死別し、母の手ひとつで育てられました。16歳のとき、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国に渡りシラキュース大学等で8年間の苦学の留学生生活を送りました。帰国後、分筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託(株)を創立し社長として、新分野を開拓し、その目的を「社会への貢献」とするなど、今日で言うフィランソピー(博愛)の基盤を作りました。晩年は(財)三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。又、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立、何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りにせよ、これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。「他人への思いやりと助け合い」の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかつた陰徳の人でした。

これ実に(米山梅吉)翁の生前意図されたロータリー事業の一つであり、「われらまでもって翁の遺徳を讃える無形の金字塔となさんとするものであります」を設定の趣旨に1952年11月4日東京RCの古沢会長が発表した「米山基金」はアジアの優秀な学生を日本に招いて研究させたいというものでした。この「米山奨学金(通称米山ファンド)」設定の趣旨の最後の一文にこの構想にかけた並々ならぬ意気込みを見ることが出来ます。古沢氏は、最初に迎えた奨学生を見ることがなく1955年に亡くなりました。その三年後、第一号の奨学生ソムチャードさんがいよいよ母国に帰る日、東京RCの新田義美氏がバンコクRCへ宛てた手紙の一文をご紹介します。

彼は4年間、日本で多くのことを学び、人間は基本的には同じであるとわかってくれたはずです。人は、世界の人々と友情を育むことができるということを、我々は証明したいのです。今からソムチャードさんはあなた方の元へかえります。あな

た方は彼を誇りに思ってくださいることでしょう。(原文は英語)

1957年9月「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され、全国組織となり、月に煙草一箱を節約して、の合言葉によって、会員1名あたり月額50円寄付がスタート。以後世話クラブ制度の設置、ロータリー米山記念奨学会と名称変更、財団法人化、カウンセラー制度の設置、公益財団法人化、等々変遷をして、現在に至っております。

次に、「現在」ですが、今迄126カ国、18,104名の優秀な奨学生を支援してきましたが、中でも特に、韓国駐日大使(2名)、えび養殖(台湾)で旭日中綬章を授章された学友等、活躍している数多くの奨学生を輩出しています。がしかし現在、大きな課題があります。政治問題であり、民間とは別と考えますが、中国、韓国の留学生になぜ支援するのかを多くのロータリアンから聞きます。選考する際、人物、学業面での優秀性を重んじつつ、1カ国に偏らないようにしていますが、特に中国籍の留学生が63%と高い為苦勞しているのが、実情です。(中国人の奨学生は前年度51%今年度44%)

続いて未来について、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の目的である、勉学又は研究のため来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行う。(1)、奨学金の支給(2)、その他この法人の目的達成のために必要な事業、とあります。米山翁の遺徳を讃える中で、時代と共に支援の仕方は変更をする必要があると考えますが、以下の3点については米山のタスキを、つないでいくことが、重要であると思います。

- 1-日本のロータリアンが受け継いできた、世界に誇る国際貢献事業
 - 2-教育への投資―国際親善や友好など、計り知れない長期的波及効果
 - 3-平和への願いを奨学生を通じて世界に広める
 - 4-門戸を広げて、奨学生が特定の国に偏らないようにする
- 世界では今でも戦争による紛争、病気による沢山の死者など依然として、平和とはいいいがたい状況にあります。地道ではありますが、米山奨学を通じ貢献できればと考えます。
- 最後に、皆さんの貴重な寄付金により成り立っている米山記念奨学会を何卒ご理解いただき、寄付金増強にご協力をお願いいたします。



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

地区指導者育成セミナー報告



地区指導者育成セミナーの報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **高橋 寛登**

国際ロータリー第2710地区2014-15年度、地区指導者育成セミナーは、平成26年8月23日13時より、ホテルグランヴィア広島において開催されました。当日の出席者は、パストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、ガバナー補佐、代表幹事、会計長、地区役員、クラブ役員でした。

地区指導者育成セミナーの目的は、ロータリー章典によれば、「クラブレベルを超えて、ロータリーで奉仕するよう地区内のロータリアンの意欲を高めることである。」とあります。

その目的に向かって、国際ロータリー第2680地区パストガバナー 三木 明氏の「ロータリーの目的とは」と題する基調講演、国際ロータリー第2730地区パストガバナー 安満良明氏の「地区会員増強目標を達成するために」と題する、会員増強部門の講演、16時15分からのパネルディスカッションでは、モデレーターに 三木 明氏、パネラーは、「指導力育成および動機づけのテクニック」、と題して安満良明氏、同じくパネラーに、「リーダーシップを発揮する機会」と題して、2710地区パストガバナー大之木精二氏、同じくパネラーに、「奉仕活動への意欲を高める動機づけ」と題して田村パストガバナーに、地区指導者育成セミナーの目的に沿った有益な講話を聴くことが出来ました。

三木 明氏は、「盟の水は、押せば帰ってくるが、引けば逃げて

いく」の話、「幸せは、自分は要りませんと言っても、自分から離れません。」の話、ロータリーは、「心田を耕す場である。」の話、米山梅吉氏は、「ロータリーの例会は、人生の道場である。」の話、「ロータリークラブは例会で、ロータリーの心を磨くところであり、切磋琢磨する場でもある。」の話、「ガイ・ガンディッカーは、お互いに自分を磨きあうという教育的機能が、ロータリーの本質である。」の話、「即物的奉仕は本来の姿ではない。」の話、「人間として、あるべき心を磨く所である。」の話、「ロータリアンは、弱者に接する人達の集まりであるから、その人達に気配りをしなければならぬ。」など、感動するお話を聞くことができました。

パネラーの安満氏は、「4年後のロータリーはどのようになるかを考える、多様性を求めて柔軟に対応する、100のクラブには100通りのやり方がある。」大之木パネラーは、「ロータリーは、リーダーまたは、リーダーたらしとする人の集りであること、選ばれて入会したという意識が乏しいのではないか。」の話。田村パネラーは、「ロータリーでは、自己を磨くことが求められており、奉仕活動によって益々磨かれ、奉仕活動は、持続可能である。」など、感銘深いお話がありました。特に大之木パストガバナーのお話の後、会場から大きな拍手が沸き起こりました。以上で報告を終わります。



2014-15年度 地区指導者育成セミナー報告（会員増強部門）

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会委員長 **菅本 栄介**

8月23日13時より2014-15年度地区指導者育成セミナーがホテルグランヴィア広島で開催されました。開催前にこの度広島安佐地区の災害で亡くなられた方への黙とうを捧げました。

13時より本会議一部では会員増強部門とロータリー財団との合同で、金子ガバナー・前田地区研修リーダーお二方の挨拶に続き、第三ゾーン三木 明RI研修リーダーによる『ロータリーの目的とは』のタイトルで講演を戴きました。奉仕の原点・二宮尊徳の精神を取り上げ又、米山梅吉氏のロータリーに対する精神と功績などを述べられました。

14時35分より150名参加し会員増強部門に於けるセミナーで安満 良明RI第3ゾーンロータリー・コーディネーターより『地区会員増強目標を達成するために』のタイトルで講演を戴きました。

ロータリーの公共イメージを上げるために自分たちの地域と関り、役に立つ相談会などを設け、実際会員数が減少した中、会員増強につながった活動事例など話され、これらは今年度目標の一つに挙げているロータリーデー開催のヒントになると思います。また、ロータリーへ入会する時、目的について正しく理解をしてもらえるよう努めること、役に立ちたい気持が増強の始まりになることなど話されました。

続いて国際ロータリー第2710地区 福山Eクラブ2710 池田潤

治前年度会長より『クラブ設立1年経過して』のタイトルで講演を戴き、会員増強につながる手段として・他クラブロータリアンは特にインターネットでホームページを開き、出席率向上・メイクアップに大いにEクラブを知ってもらい活用して戴きたいと述べられ、Eクラブの奉仕活動内容などをスライドで紹介して戴きました。

続いて菅本地区増強委員長より《会員増強に関するアンケートの報告》を行いました。事前に各クラブにアンケートをお願いし、内容は『会員増強の方法』『増強の問題点』『クラブ会員維持・退会防止』『新会員へのロータリー情報の浸透方法について』、設問を71クラブより実践している事例およびクラブの目標・計画・事例を提示してもらい、殆どの内容を掲載しています。この回答を冊子にまとめ・集計したものを報告しました。各クラブで増強のヒントになるものと思ひ活用願いたいと思います。

最後に天野地区会員増強委員会カウンセラーよりご講評を戴き、今日のアンケートの内容を踏まえ同時に2710地区の各クラブの現状を再認識してもらい、会員増強の必要性など、どうあるべきか目の前の問題解決に向けてチャレンジしてほしいとしめくられ、2014-15年度地区指導者育成セミナーを終了しました。



2014-15年度 地区指導者育成セミナー ロータリー財団部門について（報告）

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区ロータリー財団委員会委員長 **伊賀 訓之**

2014年8月23日（土）ホテルグランヴィア広島において、2014-15年度地区指導者育成セミナーが開催され、R財団部門にはクラブから79名、地区関係者11名の参加がありました。ロータリー財団への理解をより深めていただくため、倉田修三委員の司会により以下の内容で進められました。

■講話 第3ゾーンARRFC 田村泰三PG

- ①国際ロータリーの慈善機関であるロータリー財団は、財団の使命を支える会員と、ロータリー支援者の任意の寄付を財源としている
- ②ロータリー財団の標語「世界でよいことをしよう」
- ③財団の使命「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」
- ④ロータリアンが奉仕のためにお金を出し（各種の寄付）、奉仕のためにお金を使い（補助金の申請）、またこれらを持続可能にするためには、大口寄付が重要である
- ⑤ポリオを完遂するための「エンドゲーム戦略計画」

■地区ロータリー財団委員会現況報告 伊賀訓之

- ①寄付状況、地区補助金及びグローバル申補助金申請状況、DDF使用状況の報告
- ②2014-15年度地区目標について

- ポリオ・プラスへの支援 15ドル／1人以上
年次基金寄付 150ドル／1人以上
恒久基金寄付 ベネファクター 1人以上
③ロータリーカード協力の依頼
④財団勉強会開催の依頼
10月から12月頃にかけてグループごとに開催

■地区補助金スケジュールについて

松本治彦委員、三吉孝治委員

今後のスケジュールについて説明。

■地区補助金について 久笠信雄委員、松井敏委員

地域のニーズ調査の重要性やプロジェクト計画段階から最終報告書を想定して実行し、資金の管理に注意することなどの説明。

■グローバル補助金について

奥先憲太郎委員、川本晏聖委員、呉南RC山本清様
オンライン申請によるグローバル補助金は、プロジェクト実施国と援助国の委員がうまくコミュニケーションを取ることがプログラム成功の秘訣であり、国際ロータリー財団からの沢山の質問に答えることがいかに大変であるか等を、実例を交えて説明。

2014年 米山奨学会研修旅行報告

世話クラブ:宇部西RC

エブラヒミ・マジッド

私は今回の研修旅行で数々の素晴らしい場所を訪れ、日本について多くの事を学びました。そこで、写真とともに、この旅行で興味深く感じたり、驚いた点についてお伝えしたいと思います。

私は、宇部西ロータリークラブのロータリアンである浅山先生と2人の学生と一緒に出発しました。(写真1) 浅山先生は素晴らしい眼科医で、私は、先生と楽しく会話をさせていただきました。また、先生は旅行の間、私達のお世話をしてくださいました。

まず、倉敷市で備前焼という名前の古い技法で作られている陶器を見学しました。(写真2) 備前焼はとても素晴らしく、また高価なもので、私は萩市で作られている美しい萩焼を思い出しました。

松江市では、松江フォーゲルパークを訪れました。そこは景色が素晴らしく、たくさんの鳥がいました。私はずっとオオハシを見たいと思っていた、また他にも数々の色鮮やかな鳥に触れ合う機会を得ることができました。(写真3) また、日本語で「こんにちは」、「おはよう」、「あ

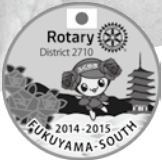
りがとう」、「おやすみなさい」や「さようなら」などの言葉を話すオウムにとっても驚きました。(写真4)

夜は、日本様式の宿の玉造温泉に宿泊しました。玉造温泉は素晴らしい温泉街で、山口市の湯田温泉のようにいくつかの温泉施設や無料の足湯もありました。夕食で美味しい日本料理を食べて、しばらく温泉でゆっくりした後、夏祭りに参加しました。私は2、3度「三味線」と呼ばれるギターのような日本の楽器を映像では観たことがありましたが、その素晴らしい音色を実際に聞くのは初めての経験で、日本の古い歴史と豊かな文化を反映しているように感じました。(写真5)

翌日は、松江市で舟の旅を楽しみました。それは歴史ある松江城のお堀を舟でめぐるといったものでした。船頭さんは舟を漕ぐ腕前も素晴らしく、また、素敵な歌声で日本の歌を歌ってくれました。(写真6)

それから、日本人にとって神聖な場所である出雲大社へ行きました。(写真7) ツアーガイドの方から、出





2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



雲大社は、私の大好きな宮島の厳島神社と深い関わりがあると聞きました。多くの人が参拝に訪れることを知り、私もまた友人や家族のために祈りました。

次に、豊かな歴史と美しい自然を持ち、世界遺産にもなっている石見銀山を訪れました。そこでは、古い町並みを自転車で周り、とても楽しい時を過ごしました。昼食は、約200年前に建てられたという「渡辺家住宅」でとりました。お弁当はとても綺麗に盛り付けられていて、もちろん美味しく、石見銀山の自然と歴史を表しているように感じました。(写真8)



世話クラブ:広島西RC

喬 磊

今回、ロータリー米山奨学生として研修旅行に参加させていただき、本当にありがとうございました。一泊二日の旅行を通して多くの日本文化を学び、たくさんの友達を作ることができました。更に、ロータリー米山奨学会の主旨である異文化理解とコミュニケーション能力を身に付けることができました。多くの優秀な学生とコミュニケーションを取ることによって、お互いの国の文化や習慣を知り、とても楽しく過ごしました。

ロータリー米山奨学会のオリエンテーションの後、初めて皆に会ったので、最初はすこし緊張しましたが、奨学生のイラン出身のマジットさんとネパール出身のバッハンドさんが暖かく声をかけてくれました。そこから、緊張感が溶けて皆と楽しく話しながら、観光しました。一日目では私たちは倉敷市にある美観地区、蒜山SA、松江フォーゲルパークに行きました。江戸時代の町並みが残っている美観地区はとてもきれいで町の歴史感を感じました。また、商店街のやさしい店員さんから備前焼のことや桃太郎のことなど教えてもらって岡山の文化を知りました。また、松江フォーゲルパークはまるで花の世界のようにたくさんの花や植物がありました。皆は「ここで泊まりたい」

世話クラブ:東広島RC

ハマル・ディペンドラ

まず始めに、このような機会を与えてくれた地区米山委員会に感謝したい。また同伴して下さった先生、ロータリークラブのすべてのスタッフ、ガイドの方々、またツアー中いつも親切にくださった仲達さんに対しても感謝の意を表したいと思う。このツアーでのもてなし方、その入念な企画は非常に素晴らしいと感じた。今まで参加したツアーの中で最もよいと思った。このロータリーツアーを通して、いたるところでその素晴らしいさを実感することができた。多くの友人を作ることができ、日本文化を学べ、岡山や島根県のまだ行ったことのなかった新たな場所を知ることができた。特に倉敷市の美術館や島根県の松江フォーゲルパークは知名度も高く、個人的にもう一度行ってみたいと思った。また玉造では人生で初めて「温泉」に挑戦した。たとえ私の母国であるネパールに帰ってもこの経験は忘れないと思う。

またこのツアー中、いろいろな日本食を食べた。その中のいくつかは、今までに食べたことのなかったものだったのですごく新鮮だっ



様々な場所を初めて訪れることができ、日本の歴史や文化、生活についてたくさん知ることができました。7か国の人達と共に過ごし、それぞれの国や文化について話し合えたことは素晴らしい経験でした。

最後に、この旅行をより楽しいものにしようと色々とお世話くださったロータリークラブの皆様に感謝申し上げます。今後も、催されるプログラムには是非参加したいと思っています。そして、この旅行で出会えた友人たちにまた出会えることを願っています。(写真9)



と言っていました。夜は玉造温泉で泊まりました。日本の誇りである温泉を楽しみながら、日本の文化を体験しました。宴会では皆、それぞれ自己紹介し、国籍なく一緒に盛り上がり、友情を高めました。二日目では松江堀川遊覧、出雲大社、世界遺産の石見銀山に行きました。遊覧ボートで松江堀川の歴史を聞きながら、町風景を見ました。出雲大社で日本の神様の話を聞き、日本式で出雲大社を参拝しました。世界遺産の石見銀山で皆、自転車で山登りをし、龍源寺間歩をしました。仲間と一緒に汗を流して、お互い励みながら、山に登ってとても楽しかったです。

楽しい時間はあっという間経ってしまいました。皆、離れたくない気持ちがいっぱいです。知り合いではなかった私たちはロータリー米山奨学会のお陰で友達になりました。世界の人々は一つになってお互いに文化を理解し、助け合うことはロータリー米山奨学会の一つの目的です。奨学生の私たちは今回の研修旅行を通じて、皆は友達になり、一緒に日本の文化を体験することができました。本当にロータリー米山奨学会に感謝しています。ありがとうございました。



た。2日目の午前、松江に行き出雲大社を訪れた。その後石見銀山を見て回った。自転車に乗ったり、昼食を取ったり、よい観光ができた。そして広島駅にはその日の18時過ぎに帰ってきた。総括してみると、この旅行を心の底から楽しむことができ、非常にいい思い出となった。次の機会が楽しみである。



国際ロータリー 第2710地区 2014-15年度 74RCの会員増減・出席率

2014年8月度

グループ	クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	89.67	91.54	29	29	4	0	0	0
	下 関	4	81.25	82.12	47	48	2	1	0	1
	下関中央	4	82.4	82.87	28	28	4	0	0	0
	下 関 東	3	84.37	81.64	47	51	0	4	0	4
	下 関 北	3	92.8	93.22	41	42	0	1	0	1
	下 関 西	3	85.33	85.72	35	37	1	2	0	2
	油 谷 湾	3	96.97	97.58	11	11	0	1	1	0
	計		87.54	87.81	238	246	11	9	1	8
グループ2	萩	3	96.6	96.23	52	52	0	0	0	0
	萩 東	3	100	99.55	21	22	0	1	0	1
	美 祢	3	74.07	75	23	22	0	1	2	-1
	小 野 田	3	86.17	86.99	41	41	2	0	0	0
	宇 部	3	91.24	90.56	49	49	2	0	0	0
	宇 部 東	3	63.87	68.4	14	14	2	0	0	0
	宇 部 西	4	92.39	93.91	49	50	1	1	0	1
	計		86.33	87.23	249	250	7	3	2	1
グループ3	防 府	3	81.7	86.2	50	51	0	1	0	1
	防 府 北	3	92.98	89.47	19	19	2	0	0	0
	防 府 南	3	89.19	91.47	36	37	9	1	0	1
	山 口	3	92.83	92.83	55	59	4	4	0	4
	山口県央	3	93.69	91.94	36	37	1	1	0	1
	山 口 南	4	89.7	89.7	39	39	4	0	0	0
	計		90.02	90.27	235	242	20	7	0	7
グループ4	光	3	97.62	97.62	45	46	0	1	0	1
	周 南 西	3	92.2	95.57	46	49	5	3	0	3
	徳 山	3	93.43	93.45	50	53	1	3	0	3
	徳山セントラル	3	90.81	93.68	28	29	1	1	0	1
	徳 山 東	3	97.36	96.66	52	51	0	1	2	-1
	計		94.28	95.4	221	228	7	9	2	7
グループ5	岩 国	3	80.75	81.12	61	65	0	4	0	4
	岩国中央	3	86.41	89.1	38	40	3	2	0	2
	岩 国 西	4	86.8	88.56	55	54	3	0	1	-1
	柳 井	3	100	100	34	34	2	0	0	0
	柳 井 西	3	100	97.83	28	28	2	0	0	0
	計		90.79	91.32	216	221	10	6	1	5
グループ6	広 島	3	99.71	99.5	114	119	0	7	2	5
	広島安芸	3	100	99.31	39	39	2	0	0	0
	広島安佐	3	93.65	94.45	19	21	1	2	0	2
	広 島 東	3	98.53	98.83	89	95	4	6	0	6
	広 島 北	3	100	100	81	85	0	4	0	4
	広島陵北	3	99.37	98.79	55	56	3	1	0	1
	大 竹	3	92.33	89.04	31	32	0	1	0	1
	計		97.66	97.13	428	447	10	21	2	19

グループ	クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	100	100	72	73	8	1	0	1
	広島廿日市	3	85.58	87.39	37	37	1	0	0	0
	広島城南	4	98.25	98.25	57	57	3	0	0	0
	広島南	4	99.4	99.7	88	91	0	4	1	3
	広島東南	4	100	100	86	89	11	3	0	3
	広島西南	3	100	100	62	62	4	0	0	0
	広島西	3	100	100	75	74	0	0	1	-1
計		97.6	97.91	477	483	27	8	2	6	
グループ8	江田島	4	91.74	93.24	19	19	0	0	0	0
	東広島	3	100	100	31	31	2	0	0	0
	東広島21	3	74.08	75.24	18	18	5	0	0	0
	呉	3	88.49	91.42	68	75	1	7	0	7
	呉東	3	97.53	97.29	28	28	0	0	0	0
	呉南	4	90.92	88.53	56	57	4	1	0	1
	西条	3	100	100	39	40	1	1	0	1
計		91.82	92.25	259	268	13	9	0	9	
グループ9	広島空港	2	83.34	85.12	22	22	3	0	0	0
	因島	3	88	90.46	26	26	1	0	0	0
	三原	3	93.55	93.39	64	64	2	0	0	0
	尾道	4	84.44	85.01	71	73	3	3	1	2
	尾道東	3	87.44	87.91	51	51	0	0	0	0
	瀬戸田	3	85.7	85.7	7	7	0	0	0	0
	竹原	3	86.49	88.86	36	37	4	1	0	1
計		86.99	88.06	277	280	13	4	1	3	
グループ10	府中	3	73.81	81.55	32	32	0	0	0	0
	福山	3	96.88	95.98	83	83	0	1	1	0
	福山東	3	95.33	94.69	49	49	3	0	0	0
	福山丸之内	4	98.49	97.73	33	33	1	0	0	0
	鞆の浦	3	87.5	86.67	23	24	0	1	0	1
	福山REC2710	3	97.43	98.08	26	26	4	0	0	0
	計		91.57	92.45	246	247	8	2	1	1
グループ11	福山赤坂	3	76.55	78.87	43	43	4	2	2	0
	福山北	4	92.71	90.33	48	49	0	1	0	1
	福山南	3	77.43	80.5	60	60	2	2	2	0
	福山西	3	96.12	94.65	44	43	3	0	1	-1
	松永	3	91.84	92.51	49	49	2	0	0	0
	計		86.93	87.37	244	244	11	5	5	0
	吉舎	4	100	100	17	17	0	0	0	0
グループ12	三次	3	81.58	82.72	39	40	0	1	0	1
	三次中央	3	93.94	93.15	44	44	5	1	1	0
	庄原	2	92.41	92.34	33	34	4	1	0	1
	東城	3	86.67	91.84	19	20	1	1	0	1
	計		90.92	92.01	152	155	10	4	1	3
	第2710地区計		90.86	91.43	3242	3311	147	87	18	69



新入会員紹介



森野 勝通
下関中央RC
2014年6月27日
左官・タイル工事業



宮原 恒人
下関東RC
2014年8月21日
ホテル業



上利 三千雄
下関東RC
2014年8月21日
通信機器販売



鹿島 康夫
下関東RC
2014年7月30日
電気工事業



尼田 剛
下関東RC
2014年9月4日
地元地方銀行



久野 耕一郎
下関北RC
2014年8月5日
地方銀行



田中 努
下関西RC
2014年8月27日
溶接業



大田 三夫
下関西RC
2014年9月3日
製造業



吉井 功一郎
油谷湾RC
2014年8月1日
銀行員



山根 博明
防府RC
2014年9月2日
地方銀行



岡田 則夫
防府RC
2014年9月2日
管工事



松江 卓郎
徳山RC
2014年8月7日
土木工事



藤井 孝司
徳山東RC
2014年9月3日
薄鋼板製造



川上 和重
広島RC
2014年8月5日
電話事業



大石 高文
広島RC
2014年8月5日
総合化学工業製品製造



大谷 恭平
広島RC
2014年8月19日
電子通信機器製造



阿部 芳博
広島東RC
2014年8月6日
アウトソーシング事業



畔上 修一
広島東RC
2014年8月6日
電気通信事業



片岡 英樹
広島東RC
2014年8月6日
酒類配布



松浦 克宜
広島東RC
2014年8月6日
食品小売



西口 恭彦
大竹RC
2014年8月26日
製紙工業



粟井 孝二
広島中央RC
2014年8月4日
機械器具配布



谷山 清己
呉RC
2014年8月7日
医療センター



塩田 雄太郎
呉RC
2014年8月7日
総合病院



天野 成幸
呉RC
2014年8月7日
地方銀行



石田 直樹
呉RC
2014年8月21日
情報処理サービス



村重 宏司
呉東RC
2014年9月3日
信用金庫



中谷 晴紀
三原RC
2014年9月9日
為替銀行



瀬尾 暁史
尾道RC
2014年8月1日
税理士



泉 博之
尾道RC
2014年8月8日
ガス製造



河村 博文
福山赤坂RC
2014年8月4日
ホテル業



松浦 宏次
福山赤坂RC
2014年8月4日
経営コンサルタント



谷口 実男
三次RC
2014年7月31日
建設業



天野 勝則
庄原RC
2014年7月15日
農協

文庫 通信

324号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演 他

80歳エベレスト登頂～希望の奇跡	三浦雄一郎	2014	8p	(第42回ロータリー研究会報告書)
世界遺産としての富士山	井上 輝夫	2014	3p	(米山梅吉記念館館報)
違うことはいいことだ	大宅 映子	2014	4p	(D.2580地区大会の記録)
ピンチをチャンスに!	東国原英夫	2014	11p	(D.2790地区大会記録誌)
グローバル時代の企業経営	張 富士夫	2014	4p	(D.2760地区大会記録誌)
「お金の世界」から「いのちの世界へ」	菅野 典雄	2014	16p	(D.2510地区大会記録誌)
「顔が赤くなる人は酒を飲みな」って...!?	岡村 健	2014	5p	(福岡南RC月報)
人間はいつ歳をとるのか	牧田 静二	1998	2p	(月曜短信)
天皇・皇后両陛下にお仕えて	羽毛田信吾	2014	4p	(D.2600下伊那グループIM & 会員セミナー報告書)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫 | 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

お詫びと 訂正

ガバナー月信vol.3(9月号) P1「ガバナーメッセージ」に以下の通り誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

右段上から3行目 (誤) go forth to service ⇒ (正) go forth to serve

右段上から4行目 (誤) actual action ⇒ (正) take action

国際ロータリー 第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>